

2008年 9 月28日 実施

平成20年度（第39回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 6 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. パソコンの電源が入るとOSよりも先に起動され、接続されている磁気ディスク装置やキーボード、マウスなどの機器を制御・管理するプログラム。
2. システム開発の初期段階から試作品を作成し、ユーザと確認をしながら進めていく開発手法。
3. 複数台のハードディスク装置を並列に組み合わせで一体化し、全体を1つのディスク装置のように扱う技術。データを分散して記録することにより、処理の高速化や高い信頼性を実現できる。
4. 大容量のバッテリーを内蔵し、停電などの電力トラブルが発生した際、一定時間、コンピュータに電力を供給する装置。
5. ブラウザを通じてアクセスしたWebサイトから、データが一時的に保存されるしくみ。サイトの訪問回数などのユーザ情報が記録されているので、次回以降のアクセスでそのデータが利用されることがある。

解答群

- | | | |
|-----------|----------------|-------------|
| ア. UPS | イ. ウォータフォールモデル | ウ. BIOS |
| エ. MIPS | オ. デバイスドライバ | カ. POP |
| キ. RASIS | ク. RAID | ケ. MIME |
| コ. Cookie | サ. プロトタイプモデル | シ. スパイラルモデル |

【2】 次の文の（ 1 ）から（ 5 ）に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

一般的にLANは、コンピュータやプリンタに装着された（ 1 ）と集線装置である（ 2 ）とをLANケーブルで接続し構築されている。各機器はMACアドレスとIPアドレスで識別され、IPアドレスは、ネットワーク管理者が各コンピュータやプリンタなどに個別に設定する。また、ノート型パソコンのような移動が可能な機器には、移動先のLANに接続するたびに、（ 3 ）サーバからIPアドレスが自動的に割り当てられるように設定する場合がある。

また、ここで設定するIPアドレスは、LANの規模に応じて、ネットワーク管理者が自由に設定できる（ 4 ）IPアドレスを用いる。これに対して、インターネット上のWebサーバやメールサーバなどに設定するIPアドレスは、世界中で一意の（ 5 ）IPアドレスを用いる。

解答群

- | | | |
|-------------|---------|-----------|
| ア. サブネットマスク | イ. NIC | ウ. ゲートウェイ |
| エ. グローバル | オ. ハブ | カ. VRAM |
| キ. バス | ク. DNS | ケ. FTP |
| コ. DHCP | サ. HTTP | シ. プライベート |

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. LANとインターネットとの間に置き、LAN内部からインターネット上への要求をクライアントの代理として中継するサーバ。キャッシュ機能やファイアウォール機能をもつものもある。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ア. ファイルサーバ | イ. プロキシサーバ | ウ. プリントサーバ |
|------------|------------|------------|

2. 秘密鍵暗号方式とも呼ばれ、暗号化と復号に同一の鍵を用いる方式。

- | | | |
|------------|---------|------------|
| ア. 公開鍵暗号方式 | イ. 電子署名 | ウ. 共通鍵暗号方式 |
|------------|---------|------------|

3. データ範囲をいくつかの区間に分け、各区間に入るデータの数や柱状で表したグラフ。

- | | | |
|-----------|----------|---------|
| ア. ヒストグラム | イ. パレート図 | ウ. パート図 |
|-----------|----------|---------|

4. 問題点を明確にするために、次の の手順で進められるデータ整理の方法。

情報収集 → カード化 → グループ化 → 図解化 → 文章化

- | | | |
|-------------|--------------|--------|
| ア. クリティカルパス | イ. ブレンストーミング | ウ. KJ法 |
|-------------|--------------|--------|

5. ある学校では、在学中に発行した生徒会新聞をCD-Rに記録して卒業時に配布している。新聞は8ページで構成され、毎年6回発行される。1ページあたりの容量がすべて10MBである場合、3年分を1枚のCD-Rに収めるために必要十分な圧縮率を答えなさい。なお、CD-Rの記憶容量は、700MBとする。

- | | | |
|--------|--------|--------|
| ア. 40% | イ. 50% | ウ. 60% |
|--------|--------|--------|

【4】 次の各問いに答えなさい。

問1. 次の表は、目標積立額、利率、期間から積立額を求める表である。A 4 に目標積立額、B 4 に利率（年）、C 4 に期間（年）を入力するとD 4 に積立額（月）が求められる。D 4 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、1 か月複利とする。

	A	B	C	D
1				
2	積立額計算表			
3	目標積立額	利率(年)	期間(年)	積立額(月)
4	¥5,000,000	1%	5	¥-81,302

- ア. =PMT(B4/12,C4*12,0,A4)
- イ. =PMT(B4*12,C4/12,0,A4)
- ウ. =PMT(B4/12,C4/12,0,A4)

問2. ある文房具店では、商品の在庫を管理するために、次の表を用いている。在庫数が基準在庫数に満たない場合は、不足数以上で最小の12の倍数で商品を発注している。E 4 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D	E
1					
2	在庫管理表				
3	品名	基準在庫数	在庫数	過不足数	注文数
4	鉛筆	70	52	-18	24
5	ボールペン	95	100	5	
6	シャープペン	140	109	-31	36
7	水性ペン	80	75	-5	12
8	油性ペン	120	136	16	

- ア. =IF(D4<0,MOD(D4*-1,12),"")
- イ. =IF(D4<0,FLOOR(D4*-1,12),"")
- ウ. =IF(D4<0,CEILING(D4*-1,12),"")

問3. ある学校では、一定の条件を満たしている生徒に自転車通学を許可している。次の表のF 4 には、通学許可の可否を判断する下記の式が設定されており、自転車通学条件を満たしている場合は ○ を表示する。この式をF 8 までコピーしたとき、F 列に表示される○ の数を答えなさい。

	A	B	C	D	E	F
1						
2	自転車通学許可表					
3	生徒番号	自転車点検	許可願	距離(km)	公共交通機関	許可
4	3501	整備済	提出	4	なし	※
5	3502	整備済	提出	2	なし	※
6	3503			9	なし	※
7	3504		提出	5	あり	※
8	3505	整備済	提出	8	あり	※

(注) ※印は、値の表記を省略している。

=IF(AND(B4="整備済",C4="提出",OR(D4>=8,AND(D4>2,E4="なし"))),"○","")

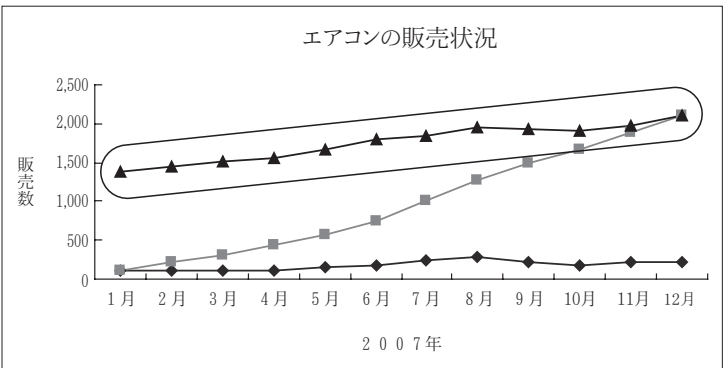
問4. ある複合型映画館では、週ごとの映画別入場者数の比率を求めるために、次の表を用いている。E 5 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式をG 9 までコピーするものとする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	映画別入場者集計表						
3	映画名	入場者数			入場者数週別比率		
4		1 週目	2 週目	3 週目	1 週目	2 週目	3 週目
5	日時計	830	915	750	29.3%	29.2%	28.2%
6	P 3	652	758	623	23.0%	24.2%	23.4%
7	マスト	310	256	187	10.9%	8.2%	7.0%
8	同窓生	284	306	251	10.0%	9.8%	9.4%
9	L A S T	756	899	850	26.7%	28.7%	31.9%
10	合計	2,832	3,134	2,661	100.0%	100.0%	100.0%

- ア. =B5/\$B10
- イ. =B5/B\$10
- ウ. =B5/\$B\$10

問5. 次のグラフは、ある電気店の2006～2007年におけるエアコンの販売数をもとにして作成したZグラフである。3本の線のうち、 で囲まれた▲マーカーの付いた線の意味として適切なものを選び、記号で答えなさい。

- ア. 2007年の月別販売数
- イ. 2007年1月からの月別販売数の累計
- ウ. 2006年を含めたその月までの過去12か月分の販売数の合計



【5】 次の表は、ある印刷会社のカタログ印刷の料金計算表である。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問5については数値を答えなさい。

シート名「料金計算表」

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4							
5	1. 印刷料金計算						
6	印刷サイズ	入力欄	チェック欄		出力欄		
7	片面・両面	B					
8	印刷部数	6,000	OK				
9	基準料金		43,400				
10							
11	ページ数	12					
12	色	C	OK				
13					印刷料金	52,080	
14	2. 割増・配送料金計算						
15	納期	9月30日					
16	配送先コード	3	OK				
17					割増・配送料金	7,708	
18					合計料金	59,788	

シート名「基準料金表」

	A	B	C	D	E	F
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						

基準料金表（カラー印刷で8ページの場合の料金）

部数	サイズ			
	A 4		B 5	
	片面	両面	片面	両面
100 ~ 500	11,500	23,000	10,400	20,800
501 ~ 1,000	13,600	27,200	12,200	24,400
1,001 ~ 2,000	15,700	31,400	14,100	28,200
2,001 ~ 3,000	17,800	35,600	16,000	32,000
3,001 ~ 4,000	19,900	39,800	17,900	35,800
4,001 ~ 5,000	22,000	44,000	19,800	39,600
5,001 ~ 6,000	24,100	48,200	21,700	43,400
6,001 ~ 7,000	26,200	52,400	23,600	47,200
7,001 ~ 8,000	28,300	56,600	25,500	51,000
8,001 ~ 9,000	30,400	60,800	27,400	54,800
9,001 ~ 10,000	32,500	65,000	29,300	58,600
10,001 ~ 15,000	36,700	73,400	33,000	66,000
15,001 ~ 20,000	40,900	81,800	36,800	73,600

シート名「配送料金表」

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			

配送料金表

配送先コード	地域	配送料金
0	東京	0
1	神奈川	1,500
2	埼玉・千葉	2,000
3	その他の地域	2,500

シート名「倍率表」

	A	B	C
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			

倍率表

ページ数	色	
	M	C
4	0.25	0.80
8	0.40	1.00
12	0.55	1.20
16	0.88	1.80
20	1.00	2.00
24	1.15	2.20

処理条件

- シート名「料金計算表」のC6～C8、C11～C12、C15～C16に適切なデータを順に入力すると、料金を求めることができる。
- シート名「料金計算表」は、次のように作成されている。
 - C6の「印刷サイズ」の入力欄は、A4サイズであればA、B5サイズであればBを入力する。
 - C7の「片面・両面」の入力欄は、片面印刷であればK、両面印刷であればRを入力する。
 - C8の「印刷部数」の入力欄は、印刷する部数を入力する。ただし、100部以上で、かつ20,000部以下とする。
 - E8は、C6～C8のデータが正しい場合はOK、それ以外の場合は入力エラーを表示する。
 - E9の「基準料金」は、C6の「印刷サイズ」、C7の「片面・両面」、C8の「印刷部数」をもとに、シート名「基準料金表」を参照して表示する。ただし、E8が入力エラーの場合は何も表示しない。
 - C11の「ページ数」の入力欄は、カタログのページ数を4の倍数で入力する。ただし、最大24とする。
 - C12の「色」の入力欄は、モノクロ印刷であればM、カラー印刷であればCを入力する。
 - E12は、C11～C12のデータが正しい場合はOK、それ以外の場合は入力エラーを表示する。
 - G13の「印刷料金」は、E9の「基準料金」に、C11の「ページ数」、C12の「色」をもとに、シート名「倍率表」を参照して求めた倍率を乗じて求める。ただし、E12が入力エラーの場合は何も表示しない。
 - C15の「納期」の入力欄は、納入希望日を入力する。ただし、注文日の翌日以降とする。
 - C16の「配送先コード」の入力欄は、配送先コードの0～3を入力する。
 - E16は、C15～C16のデータが正しい場合はOK、それ以外の場合は入力エラーを表示する。
 - G17の「割増・配送料金」は、C15の「納期」が注文日（本日）から4日以内の場合は、G13の「印刷料金」の10%を割増料金として求める。さらに、C16の「配送先コード」をもとに、シート名「配送料金表」を参照して「配送料金」を加えて求める。ただし、E16が入力エラーの場合は何も表示しない。
 - G18の「合計料金」は、G13の「印刷料金」に、G17の「割増・配送料金」を加えて求める。

問1. シート名「料金計算表」のE8に設定する式の空欄(a)～(c)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

=IF(AND([(a)](C6="A",C6="B"),[(b)](C7="K",C7="R"),[(c)](C8>=100,C8<=20000)),
"OK","入力エラー")

- ア. (a) OR (b) OR (c) OR
- イ. (a) OR (b) OR (c) AND
- ウ. (a) OR (b) AND (c) AND

問2. シート名「料金計算表」のE12に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(AND(AND(C11>0,C11<25,[]),OR(C12="M",C12="C")), "OK", "入力エラー")

- ア. MATCH(C11, 倍率表!A5:A10, 0)=C11
- イ. INT(C11/4)=0
- ウ. MOD(C11, 4)=0

問3. シート名「料金計算表」のG13に設定する式を答えなさい。

- ア. =IF(E12="入力エラー","",ROUND(E9*VLOOKUP(C11, 倍率表!A5:C10, IF(C12="M", 1, 2), FALSE), 0))
- イ. =IF(E12="入力エラー","",ROUND(E9*HLOOKUP(C12, 倍率表!B4:C10, C11/4, FALSE), 0))
- ウ. =IF(E12="入力エラー","",ROUND(E9*INDEX(倍率表!B5:C10, C11/4, MATCH(C12, 倍率表!B4:C4, 0)), 0))

問4. シート名「料金計算表」のG17に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(E16="入力エラー","",IF([],G13*0.1,0)+VLOOKUP(C16, 配送料金表!A4:C7, 3, FALSE))

- ア. C15-TODAY()<=4 イ. C15-TODAY()>=4 ウ. TODAY()-C15<=4

問5. シート名「料金計算表」に、次のようなデータを入力したとき、G18の「合計料金」に表示される適切な数値を答えなさい。ただし、注文日(本日)は9月28日とする。

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							

(注) ※印は、値の表記を省略している。

【6】 あるパン屋では、複数の学校で昼食用のパンを販売している。毎朝、各学校から送られてくるその日の注文についての受注・納品・請求を次のようなリレーショナル型データベースを利用して管理している。次の各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

- 作業の流れ
- ① 各学校から送られてきた注文書のデータを、コンピュータに入力する。
 - ② データ入力終了後、学校ごとの「納品・請求書」を発行する。

(各学校から送られてくる注文書)

注文書

2008年9月26日

〇〇パン屋 御中

〇〇高校

No.	商品コード	商品名	数量	単価	金額
1	A01	あんぱん	22	105	2,310
2	A02	クリームパン	17	105	1,785
}	}	}	}	}	}
合 計					16,695

(各学校へ発行する、納品・請求書)

納品・請求書

2008年9月26日

〇〇高校 御中

〇〇パン屋

2008年9月26日分の納品・請求明細は次のとおりです。

No.	商品コード	商品名	数量	単価	金額
1	A01	あんぱん	22	105	2,310
2	A02	クリームパン	17	105	1,785
}	}	}	}	}	}
合 計					16,695

学校表

学校コード	学校名	担当者名	住所	電話番号	FAX番号
}	}	}	}	}	}
331030H	第三高校	千葉 〇〇	小康町×-××-×	042-642-××××	042-642-××××
331040H	第四高校	小山 〇〇	元本号町×-××-×	042-622-××××	042-622-××××
331050H	第五高校	倉田 〇〇	妙陣町×-××-×	042-642-××××	042-642-××××
331060H	第六高校	斉藤 〇〇	植野町××	042-622-××××	042-622-××××
331070H	第七高校	佐藤 〇〇	三田町×-×-×	042-661-××××	042-661-××××
331080H	四山高校	鈴木 〇〇	三田町×-××-××	042-661-××××	042-661-××××
331090H	永房高校	宮本 〇〇	永房町××××-×	042-664-××××	042-664-××××
}	}	}	}	}	}

商品表

商品コード	商品名	単価
A01	あんぱん	105
A02	クリームパン	105
A03	メロンパン	115
A04	カレーパン	115
B01	野菜サンド	170
B02	カツサンド	190
C01	焼きそばパン	125
C02	コロケパン	125
}	}	}

受注表

受注日	学校コード	商品コード	数量
}	}	}	}
20080902	331090H	A02	10
20080902	331090H	A03	13
}	}	}	}
20080926	331040H	B01	88
20080926	331040H	C02	70
}	}	}	}
20080926	331070H	B01	83
20080926	331070H	B02	99
}	}	}	}

(注) 受注表の「受注日」は、8けたの文字を用いる。
例：'20080926' は2008年9月26日を表す。

問 1. 新商品を商品表に登録する場合、空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

〔登録内容〕 商品コード : B03
商品名 : ツナサンド
単価 : 180

(a)	商品表	(b)	('B03', 'ツナサンド', 180)
-----	-----	-----	-----------------------

- ア. (a) UPDATE (b) SET
イ. (a) INSERT INTO (b) SET
ウ. (a) INSERT INTO (b) VALUES

問2. 2008年9月26日における商品ごとの受注数量一覧表を作成する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。ただし、受注数量の降順に並べ替える。

```
SELECT 商品名,SUM(数量) AS 受注数量
FROM 商品表,受注表
WHERE 商品表.商品コード = 受注表.商品コード
AND 受注日 = '20080926'
GROUP BY 商品名
```

商品名	受注数量
焼きそばパン	607
クリームパン	500
あんぱん	375
カツサンド	375
野菜サンド	330
カレーパン	205
}	}

- ア. ORDER BY SUM(数量)
イ. ORDER BY SUM(数量) ASC
ウ. ORDER BY SUM(数量) DESC

問3. 2008年9月26日の学校ごとの請求金額を求める場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

```
SELECT 学校名,  AS 請求金額
FROM 学校表, 商品表, 受注表
WHERE 学校表.学校コード = 受注表.学校コード
      AND 商品表.商品コード = 受注表.商品コード
      AND 受注日 = '20080926'
GROUP BY 学校名
```

学校名	請求金額
}	}
第三高校	51600
第四高校	87420
第五高校	72935
}	}

- ア. SUM(単価*数量) イ. 単価*数量 ウ. SUM(請求金額)

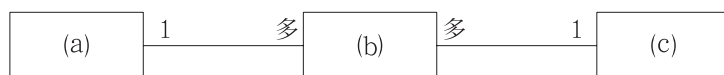
問4. 2008年9月1日～2008年9月15日に注文のあった商品で、商品コードが B で始まる商品の受注数量を求める場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

```
SELECT SUM(数量) AS 受注数量
FROM 受注表
WHERE 受注日 BETWEEN '20080901' AND '20080915'
AND 商品コード = 
```

- ア.** = 'B%' **イ.** LIKE 'B%' **ウ.** IN ('B ')

問5. リレーショナル型データベースを設計する際、E-R図を用いてデータの関連性をモデル化する。

次の図は、3つの表のリレーションシップを表したE-R図である。空欄(a)~(c)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。



- ア. (a) 学校表 (b) 受注表 (c) 商品表
イ. (a) 受注表 (b) 商品表 (c) 学校表
ウ. (a) 商品表 (b) 学校表 (c) 受注表

(平成20年 9 月28日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成20年度（第39回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記 解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成20年 9 月28日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成20年度（第39回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	サ	ク	ア	コ	

【2】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	イ	オ	コ	シ	エ	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	イ	ウ	ア	ウ	ア	

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ア	ウ	2	イ	ウ	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	イ	ウ	ウ	ア	31,100	

※「,」なし可。

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ウ	ウ	ア	イ	ア	

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計
100

2008年 9 月28日 実施

平成20年度（第39回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 実技試験問題

..... 注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です。

ある焼き鳥店では、売上金額の少ない商品の入れ替えを検討することになった。8月分の売上データにより、ABC分析を行い、Cランクになった商品を入替対象商品とすることになり、入替対象商品報告書を作成することになった。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計・分析機能などを利用して作成すること。

資料1 店コード表

店コード	店名
H	本店
S	支店

資料2 商品コード表

商品コード	商品名	価格
NG	ねぎま	110
MM	もも	100
TK	つくね	100
KW	とり皮	100
RB	レバー	100
KS	かしら	120
TN	たん	120
SM	しろもつ	100
NK	ナンコツ	110
NN	にんにく	110

資料3 売上日計データ

月	日	日計コード
7	1	HNG121
7	1	HMM095
7	1	HTK044
7	1	HKW011
{	}	}
8	31	STN028
8	31	SSM011
8	31	SNK016
8	31	SNN004

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式：罫線、列幅、数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。
「店コード表」「商品コード表」の※印の部分は、資料1・2のデータを入力する。なお、店コードおよび商品コードは半角英字である。
- シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - D列の「店名」の※※印の部分は、C列の「日計コード」の左端の1文字をもとに、シート1の「店コード表」を参照して表示する。
 - E列の「商品名」の※※印の部分は、C列の「日計コード」の左端から2文字目より2文字をもとに、シート1の「商品コード表」を参照して表示する。
 - F列の「売上数」の※※印の部分は、C列の「日計コード」の右端から3文字を抽出し、数値データに変換する。
- シート3は集計作業用シートで、シート4の作成に必要な8月分のデータを集計するために、自由に利用する。
- シート4は、次のように作成する。
 - 「1. 8月の売上集計表」は、次のように作成する。
 - C～D列の「売上数」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
 - E列の「合計」は、C～D列の合計を求める。
 - F列の「売上金額」は、B列の「商品名」をもとに、シート1の「商品コード表」を参照した「価格」にC列の「売上数」を乗じて求める。
 - G列の「売上金額」は、F列の「売上金額」と同様に求める。
 - H列の「合計」は、F～G列の合計を求める。
 - 「2. ABC分析表」は、次のように作成する。
 - B列の「商品名」とC列の「売上金額」は、「1. 8月の売上集計表」のB列の「商品名」とH列の売上金額の「合計」をコピーして、値を貼り付ける。B22～C31のデータをC列の「売上金額」を基準として降順に並べ替える。
 - D列の「構成比率」は、「売上金額」の合計に対する各商品の売上金額の割合を求める。ただし、%表示で小数第1位まで表示する。
 - E列の「累計比率」は、22行目の商品からその行の商品までの「構成比率」の累計を求める。
 - F列の「ランク」は、「累計比率」が70%以下の商品はA、70%を超え90%以下の商品はB、90%を超える商品はCを表示する。
 - D33は、「ランク」がCの商品数を求める。
 - グラフは、「2. ABC分析表」から作成する。
 - グラフの※※印の部分は、表に入力された商品名を表示する。
 - グラフの数値軸目盛は、最小値(0)、最大値(H18の値)および間隔(500000)を設定する。
 - グラフの第2数値軸目盛は、最小値(0.0%)、最大値(100.0%)および間隔(20.0%)を設定する。
 - グラフの項目軸目盛ラベルの方向を設定する。
- シート4を報告書として、1ページで印刷する。

	A	B	C
1			
2	店コード表		
3	店コード	店名	
4	H	※	
5	S	※	
6			
7	商品コード表		
8	商品コード	商品名	価格
9	NG	※	※
10	MM	※	※
11	TK	※	※
12	KW	※	※
13	RB	※	※
14	KS	※	※
15	TN	※	※
16	SM	※	※
17	NK	※	※
18	NN	※	※

(シート1)

	A	B	C	D	E
1					
2					
3	合計／売上数		店名		
4	月	商品名	本店	支店	総計
5	7	かしら	581	※※	※※
6		しろもつ	※※	※※	※※
7		たん	※※	※※	※※
8		つくね	※※	※※	※※
9		とり皮	※※	※※	※※
10		ナンコツ	※※	※※	2034
11		にんにく	※※	※※	※※
12		ねぎま	※※	※※	※※
13		もも	※※	※※	※※
14		レバー	※※	※※	※※
15	7 集計		※※	10218	※※
16	8	かしら	600	※※	※※
17		しろもつ	※※	※※	※※
18		たん	※※	※※	※※
19		つくね	※※	※※	※※
20		とり皮	※※	※※	※※
21		ナンコツ	※※	※※	2054
22		にんにく	※※	※※	※※
23		ねぎま	※※	※※	※※
24		もも	※※	※※	※※
25		レバー	※※	※※	※※
26	8 集計		※※	10060	※※
27	総計		※※	20278	※※

(シート3の利用例)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	売上日計表					
3	月	日	日計コード	店名	商品名	売上数
4	7	1	HNG121	本店	ねぎま	121
5	7	1	HMM095	本店	もも	95
6	7	1	HTK044	本店	つくね	44
7	7	1	HKW011	※※	※※	※※
8	7	1	HRB036	※※	※※	※※
9	7	1	7	7	7	7
1239	8	31	SKS012	※※	※※	※※
1240	8	31	STN028	※※	※※	※※
1241	8	31	SSM011	支店	しろもつ	11
1242	8	31	SNK016	支店	ナンコツ	16
1243	8	31	SNN004	支店	にんにく	4

(シート2)

A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

入替対象商品報告書

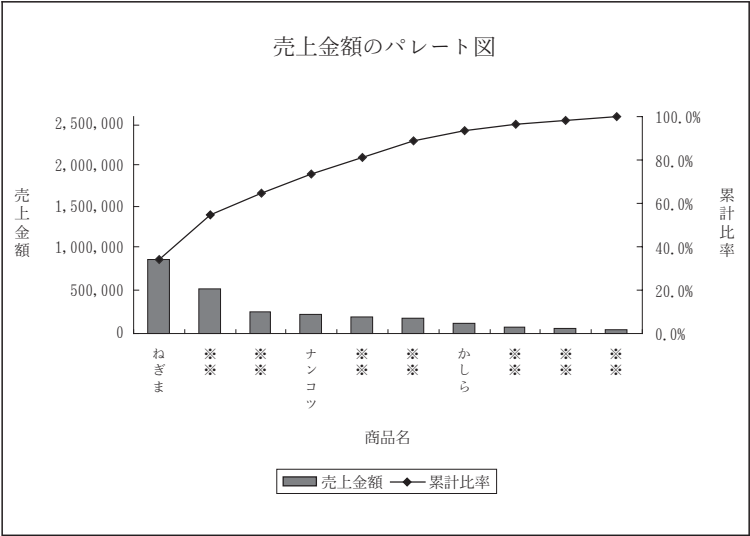
1. 8月の売上集計表

商品名	売上数			売上金額		
	店名		合計	店名		合計
	本店	支店		本店	支店	
かしら	600	※※	※※	72,000	※※	※※
しろもつ	※※	※※	※※	※※	※※	※※
たん	※※	※※	※※	※※	※※	※※
つくね	※※	※※	※※	※※	※※	※※
とり皮	※※	※※	※※	※※	※※	※※
ナンコツ	※※	※※	2,054	※※	※※	225,940
にんにく	※※	※※	※※	※※	※※	※※
ねぎま	※※	※※	※※	※※	※※	※※
もも	※※	※※	※※	※※	※※	※※
レバー	※※	※※	※※	※※	※※	※※
合計	※※	10,060	※※	※※	1,071,400	※※

2. ABC分析表

商品名	売上金額	構成比率	累計比率	ランク
ねぎま	889,020	※※	※※	※※
※※	※※	※※	※※	※※
※※	※※	※※	※※	※※
ナンコツ	225,940	8.7%	73.5%	B
※※	※※	※※	※※	※※
※※	※※	※※	※※	※※
かしら	120,960	※※	※※	※※
※※	※※	※※	※※	※※
※※	※※	※※	※※	※※
※※	※※	※※	※※	※※

入替対象商品は、種類ある。



(シート4)

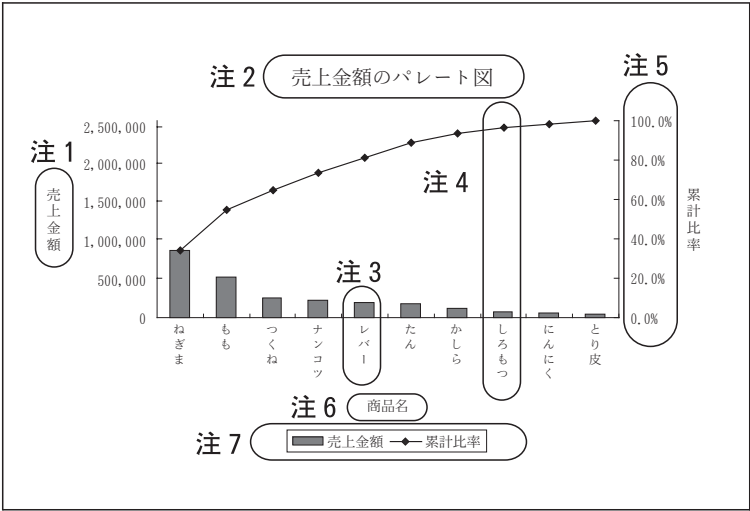
平成20年度（第39回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技
審査基準

A	B	C	D	E	F	G	H
入替対象商品報告書							
1. 8月の売上集計表							
商品名	売上数			売上金額			
	店名		合計	店名		合計	
	本店	支店		本店	支店		
かしら	600	408	1,008	72,000	48,960	120,960	
しろもつ	463	300	763	46,300	30,000	76,300	
たん	942	633	1,575	113,040	75,960	189,000	
つくね	1,544	1,109	2,653	154,400	110,900	265,300	
とり皮	252	197	449	25,200	19,700	44,900	
ナンコツ	1,214	840	2,054	133,540	92,400	225,940	
にんにく	286	207	493	31,460	22,770	54,230	
ねぎま	4,671	3,411	8,082	513,810	375,210	889,020	
もも	3,181	2,140	5,321	318,100	214,000	532,100	
レバー	1,220	815	2,035	122,000	81,500	203,500	
合計	14,373	10,060	24,433	1,529,850	1,071,400	2,601,250	

2. A B C 分析表

商品名	売上金額	構成比率	累計比率	ランク
ねぎま	889,020	34.2%	34.2%	A
もも	532,100	20.5%	54.6%	A
つくね	265,300	10.2%	64.8%	A
ナンコツ	225,940	8.7%	73.5%	B
レバー	203,500	7.8%	81.3%	B
たん	189,000	7.3%	88.6%	B
かしら	120,960	4.7%	93.3%	C
しろもつ	76,300	2.9%	96.2%	C
にんにく	54,230	2.1%	98.3%	C
とり皮	44,900	1.7%	100.0%	C

入替対象商品は、4種類ある。



- 配点 ①表の作成 () の箇所) 5 点×12箇所=60点
注 罫線は含まない。数値は、3 けたごとにコンマをつけていること。
②罫線 1. 8 月の売上集計表 5 点× 1 箇所= 5 点
③グラフの作成 () の箇所) 5 点× 7 箇所=35点
注1 数値軸ラベルは、方向、文字および位置（グラフの左側）が正しく設定されていること。
注2 グラフタイトルは、文字および位置（グラフの上側）が正しく設定されていること。
注3 レバーが縦棒グラフになっていれば正解とする（位置は問わない）。
注4 しろもつが2 軸上の折れ線と縦棒グラフで、位置が正しく設定されていること。
注5 第2 数値軸目盛は、最小値(0.0%)、最大値(100.0%)および間隔(20.0%)が正しく設定されていること。
注6 項目軸ラベルは、方向、文字および位置（グラフの下側）が正しく設定されていること。
注7 凡例は、位置（グラフの下側）および文字が正しく設定されていること（左右の順序は問わない）。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。